

【例題1】 兵庫県に関する次の記述のうち**誤っている**のはどれか。

1. 本県は、気候風土、歴史文化の異なる摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の旧五国が一つになった県である。
2. 地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁に認定される「日本遺産」が、本県は9件認定されており、全国最多である。
3. 年齢や障害の有無等にかかわらず、様々な方が気兼ねなく旅行できるユニバーサルツーリズムを推進するため、全国初となる条例を制定した。
4. 本県の推計人口は、過去10年間の社会増減（転入等－転出等）は、引き続き、転出超過が続いている状況である。
5. 特色ある風土から多彩な農林水産業が営まれ、生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く存在している。

（正答） 4

事務系職種（大卒程度・通常枠）採用試験 教養試験問題

【例題2】 兵庫県の令和6年度当初予算に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 令和6年度当初予算は総額4兆3,018億円となっており、一般会計では、新型コロナウイルス感染症関連事業の減少等により、前年度当初予算を下回った。
- イ. 歳入では、堅調な企業業績により法人関係税が増加するなど、県税収入全体は当初予算で過去最大となった。
- ウ. 勤労者の仕事と生活の調和の実現に資する事業に取り組む必要があることから、法人県民税の超過課税の課税期間を10年間延長した。
- エ. 令和6年度当初予算は、「新しい時代の力を育む兵庫」、「活躍の場が広がる兵庫」、「安全安心に包まれる兵庫」、「県政改革の推進」の4つの柱で編成した。

- 1. ア, イ
- 2. イ, ウ
- 3. ウ, エ
- 4. ア, ウ
- 5. イ, エ

(正答) 1

【例題3】 政府が近年掲げてきた経済社会改革の基本方針に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 労働市場改革として、定められた職務内容に人材を割り当てるジョブ型雇用から職務・勤務地の限定のないメンバーシップ型雇用への移行を企業に促し、企業内の労働移動を活発にするという方針を掲げた。
2. グリーントラン스포र्मーション（GX）の一環として、化石エネルギーを削減して原子力の主力電源化を進めるという方針を掲げ、2030年度には発電電力量の電源構成に占める原子力の割合を50%以上にすることを目標とした。
3. 少子化対策として、児童手当を拡充するとともに、世帯年収や扶養する子どもの数にかかわらず大学等の授業料を2025年から無償にすることが決まった。その財源は消費税や法人税の税率を引き上げることによって確保することとした。
4. 女性活躍のための取組を強化する方針が掲げられた。女性の年齢階級別の正規雇用比率を折れ線グラフで表すと、20～50歳代まで約60%でほとんど変わらず台形に近い形であるが、男性よりは低いため、この差を解消することを目標とした。
5. 地域の活性化策として、デジタル田園都市国家構想が掲げられた。これは、デジタル技術を活用して、人口減少など地方の社会課題の解決を目指すものであり、国はデジタル基盤の整備など地方のデジタル実装の下支えを行うこととした。

（正答） 5

事務系職種（大卒程度・通常枠）採用試験 教養試験問題

【例題4】 A～Dの4人が喫茶店に入り、各人が、お菓子をチーズケーキ、シュークリーム、アップルパイの3種類のうちから1種類又は2種類選び、更に飲み物を紅茶、コーヒーの2種類のうちから1種類選んで注文した。これに関して次のことが分かっているとき正しく言えるのはどれか。

- ・アップルパイを注文した人は2人であり、2人とも紅茶を注文した。
- ・Aは2種類のお菓子とコーヒーを注文した。
- ・Bは、Aと同じお菓子は注文しなかった。
- ・CとDは同じ飲み物を注文した。
- ・Dはお菓子を1種類だけ注文したが、それはシュークリームではなかった。
- ・3人が注文したお菓子があった。

1. シュークリームを注文したのは1人だった。
2. コーヒーを注文したのは2人だった。
3. Bはチーズケーキを注文した。
4. Cはシュークリームを注文した。
5. Dはアップルパイを注文した。

（正答） 1